

授業科目	成人看護学概論	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（成人看護領域臨床実務経験有）				
科目目標	1. 人間のライフサイクルにおける成人期の特徴を理解する。 2. 成人期の健康問題とほけにりょう対策について理解する。 3. 成人看護の特徴と役割・機能について理解する。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	成人看護学について おとな観について	講義・GW	非常勤 講師
	2	2	おとな観について発表	GW	
	3	2	成人期各期の対象の特徴	講義	
	4	2	成人各期の対象の特徴をふまえて事例検討①	GW	
	5	2	成人各期の対象の特徴をふまえて事例検討② グループ発表	GW	
	6	2	成人を取り巻く環境と生活の状況 (統計的視点)	講義	
	7	2	生活と健康を守りはぐくむ保健システム①	講義	
	8	2	生活と健康を守りはぐくむ保健システム② 生活者としての成人の理解について	講義・GW	
	9	2	成人看護の役割・機能① 成人への看護アプローチの基本	講義	
	10	2	成人看護の役割・機能② 健康をおびやかす要因と看護	講義	
	11	2	成人看護の役割・機能③ 中範囲理論、健康レベル	講義	
	12	2	成人看護の役割・機能④ 成人看護に有用な概念	講義	
	13	2	成人の健康レベルに対応した看護① ヘルスプロモーションと看護	講義	
	14	2	健康レベルを踏まえた看護② 人生の最期のときを支える看護	講義	
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験	
評価方法	筆記試験 100 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院				

授業科目		成人看護方法 I		単位数	1	時間数	30
担当講師		看護師（がん看護専門看護師） 看護師（乳がん看護認定看護師） 看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師） 看護師（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）					
科目目標		生活行動に障がいがある人の生活とリハビリテーションを支援する看護について学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
中 範 囲 理 論	回復期看護に必要な 1	2	障がいの受容過程	講義	が ん 看 護 専 門 看 護 師		
	2	2	不安、予期悲嘆について	講義			
	3	2	ボディイメージについて	講義			
	4	2	自己概念、自尊感情について	講義			
乳 房 喪 失	5	2	乳がん患者の特徴と看護の役割 治療選択時のケア（意思決定支援）	講義	乳 が ん 看 護 認 定 看 護 師		
	6	2	ボディイメージの変化に対する看護	講義			
	7	2	社会復帰支援と自己検診	講義			
人 工 肛 門 造 設	8	2	直腸がん患者の特徴と看護の役割	講義	皮 膚 排 泄 ケ ア 認 定 看 護 師		
	9	2	術後合併症の観察と看護 装具具の選択・特徴	講義			
	10	2	社会復帰ケア（セルフケア指導）	講義・演習			
脳 梗 塞 片 麻 痺	11	2	脳梗塞の患者の特徴と看護の役割	講義	脳 卒 中 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 看 護 認 定 看 護 師		
	12	2	合併症の観察と二次的障害の予防	講義			
	13	2	障害受容過程と生活関連動作の再獲得	講義			
	14	2	社会復帰のための連携と社会資源の活用	講義			
	15	2	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点（状況的危機 30 点、乳房喪失 20 点、人工肛門造設 20 点、脳梗塞 30 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳・神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔9〕女性生殖器 医学書院 黒田裕子監修：看護診断のためのよくわかる中範囲理論 学研					

授業科目		成人看護方法Ⅱ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		看護師（糖尿病看護認定看護師） 看護師（透析室勤務看護師） 看護師（慢性疾患専門看護師） 看護師（当該領域での臨床実務経験有）					
科目目標		1. 成人期の生涯コントロールが必要な対象への看護の方法を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
慢性期 看護	1	2	慢性病患者の理解	講義	慢性疾患専門看護師		
	2	2	慢性病との共存を支える看護	講義			
糖尿病患者の看護	3	2	糖尿病患者の特徴 （疾病受容、行動変容プロセス）	講義	糖尿病認定看護師		
	4	2	糖尿病治療と看護について	講義			
	5	2	糖尿病治療に対する教育的アプローチについて	講義			
	6	2	運動療法について	講義			
	7	2	血糖測定（実技演習）	演習			
	8	2	糖尿病看護（事例から問題とケアを検討）	GW			
腎不全患者	9	2	慢性腎不全の患者の特徴	講義	透析室勤務看護師		
	10	2	血液透析・腹膜透析の患者の看護	講義			
	11	2	透析患者の長期的合併症と看護	GW			
心不全患者	12	2	慢性心不全患者の看護	講義	看護師		
	13	2	心電図モニター、12誘導演習	演習			
	14	2	自己管理に向けた看護	講義			
	15	2	試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点（慢性看護：15 点 糖尿病 45 点、腎不全 20 点、心不全 20 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統別看護学講座 専門分野 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院					

授業科目		成人看護方法Ⅲ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		看護師（診療看護師） 看護師（集中ケア認定看護師） 看護師（ICU 師長補佐） 看護師（緩和ケア認定看護師） 看護師（がん看護専門看護師） 看護師（がん看護化学療法看護認定看護師） 看護師（放射線科実務経験有）					
科目目標		1. 成人期の生命危機状態にある対象とその家族について学ぶ。 2. 救命、集中治療時の生命を維持するための看護について学ぶ。 3. がん患者とその家族の特徴と看護の方法について学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
救急看護	1	2	救急看護の特徴と役割	講義	診療看護師/ 集中ケア認定看護師		
	2	2	救急時の患者と家族の特徴とその看護	講義			
	3	2	救急患者の状況と看護	講義			
	4	2	救急時の患者対応＜BLS、AED＞①	講義			
	5	2	救急時の患者対応＜BLS、AED＞②	演習			
看護 クリティカルケア	6	2	クリティカルケア看護の特性 患者と家族の特徴	講義	看護師 (ICU 師長補佐)		
	7	2	生命の危機状態にある患者の看護① 全身状態の観察とアセスメント	講義			
	8	2	生命の危機状態にある患者の看護② 人工呼吸器による呼吸管理	講義			
がん看護	9	2	がん医療と臨床経過、患者とその家族の特徴	講義	がん看護専門看護師		
	10	2	がん治療に対する看護①＜薬物療法＞	講義	がん化学療法看護認定看護師		
	11	2	がん治療に対する看護②＜放射線治療＞	講義	看護師 (放射線科実務経験有)		
	12	2	がんによる身体症状と看護①＜疼痛、倦怠感、消化器症状＞	講義	緩和ケア認定看護師		
	13	2	がんによる身体症状と看護②＜呼吸困難、浮腫、泌尿器症状＞	講義			
	14	2	がんによる精神症状と看護＜不安、抑うつ、不眠＞	講義			
	15	2	試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点（救急 35 点・クリティカルケア 20 点・がん看護 45 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統別看護学講座 別巻 救急看護 医学書院 系統別看護学講座 別巻 クリティカルケア看護 医学書院 系統別看護学講座 別巻 がん看護 医学書院 ナーシンググラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア メディカ出版					

授業科目		成人看護方法Ⅳ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		看護師（手術看護認定看護師） 看護師（消化器外科病棟臨床実務経験有） 看護師（集中ケア認定看護師） 看護師（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）					
科目目標		1. 周手術期の患者の身体機能を理解し、手術前と術後の身体的変化に伴い生じやすい合併症の予防に必要な看護の方法を学ぶ。 2. 手術療法を受ける対象とその家族への看護の方法を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
周手術期の看護	1	2	手術を受ける患者の理解、手術前の看護	講義	手術看護 認定看護 師		
	2	2	手術中の看護	講義			
	3	2	手術後の看護	講義			
	4	2	手術後の看護、術後ベッド	講義・演習			
開腹術を受ける患者の看護	5	2	胃がんで胃切除術を受ける患者の特徴・術前の看護	講義	看護師		
	6	2	胃切除術後の看護	講義			
	7	2	胃切除後の食事支援、退院指導	講義			
心臓手術を受ける患者の看護	8	2	心筋梗塞で心臓手術を受ける患者の特徴	講義	集中ケア 認定看護 師		
	9	2	心臓カテーテル術の看護	講義			
	10	2	術後の看護	講義			
	11	2	日常生活動作拡大に向けた看護	講義・演習			
開頭術を受ける患者の看護	12	2	脳腫瘍で開頭術を受ける患者の特徴	講義	脳卒中リ ハビリテ ーション 看護認定 看護師		
	13	2	脳神経症状の観察と術前の看護	講義			
	14	2	開頭術後の看護	講義			
	15	2	試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点（周手術期 25 点・開腹術 25 点・心臓手術 25 点・開頭術 25 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院					

授業科目		成人看護方法Ⅴ	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		本校専任教員（成人領域臨床実務経験有）				
科目目標		1. がん患者の事例を通して、健康状態に合わせた看護について学ぶ。 2. 多職種の役割と責務について学ぶ。				
回数	時間	授業内容	授業方法		担当講師	
1	2	がん患者の事例展開について	講義		専任教員	
2	2	疾患の理解①	グループワーク			
3	2	疾患の理解②、患者の理解①	グループワーク			
4	2	患者の理解②	グループワーク			
5	2	事例患者グループ発表	グループ発表			
6	2	看護計画①	グループワーク			
7	2	看護計画についてグループ発表	グループ発表			
8	2	実践準備	グループワーク 演習準備			
9	2	模擬実践①	演習発表			
10	2	模擬実践②	演習発表			
11	2	実践の振り返り	グループワーク			
12	1	多職種連携について	講義		専任教員	
13	2	他職種講義・協同学習に向けて	講義 グループワーク			
14	2	多職種連携協同学習会①	グループワーク			
15	2	多職種連携協同学習会②	グループ発表			
16	1	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点				
評価基準		60 点以上で合格				
テキスト		系統看護学講座 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院 よくわかる中範囲理論 学研				